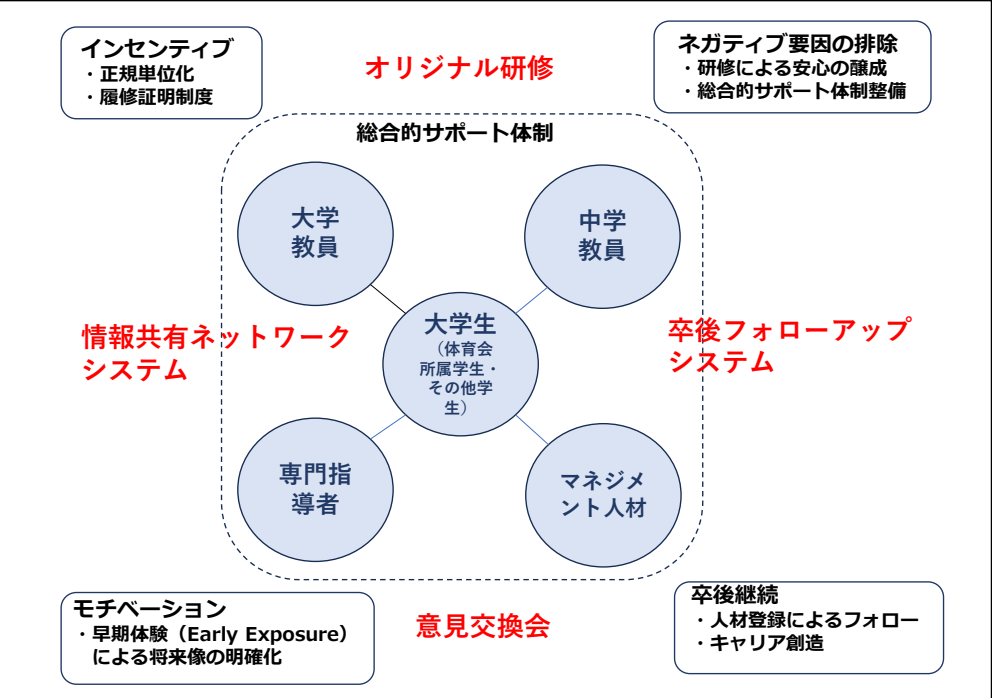


実施計画名	渋谷区の学校部活動の地域連携・地域移行における大学生の果たす役割に関する実証事業
事業概要	部活動の地域移行において「部活指導員」の量的・質的な確保は大きな課題である。大学生はその役割を担う人材として期待されているものの、部活動に伴う様々なリスクに対する責任の所在や大学生のインセンティブ・モチベーションをどうするか、等、課題も多い。本事業では、それらの課題解決に対する仮説を幾つか設定し、大学生の果たす役割とその確保について以下により検証する。 1. 研修講義： 総合的なガイドラインをカバーしながらも、部活動地域移行の中で大学生指導員として必要なコンピテンシーとして「場づくり」、「コミュニケーション」、「論理的思考」を意識した研修プログラムを作成し、体育会所属大学生、その他大学生に実施する。 2. 実地研修： 研修受講者がスーパーバイザーの観察下において渋谷区の2校の中学生に対し一定期間「スポーツ指導」の実地指導研修を実施する 3. 卒後の人材確保システム検討： ① 研修結果に応じた修了証の発行、② 正規課程への取り込み ③ 人材バンクシステム による卒後就職観セリング④ 様々な職種と触れ合う機会やチュータリングの設定、等の解決案を実地研修後のアンケート実施とシンポジウム（意見交換会）開催により評価・検討する。

■ 大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■ 実証事業の検証・評価方法

1. アンケート（学生、保護者、大学生指導員、教員、専門指導員他）
 2. シンポジウム（上記による意見交換会）
- ◆ 数値目標
- ① 座学研修参加者 20名
 - ② 実地研修完了者 12名
 - ③ 中学生の指導員満足度 90%
 - ④ 人材バンクシステム加入率 90%

■ 事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

